対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	地域子育て支援センター運営事業					予算事業名	地域子育て支援センター運営事業費
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			03	02	04	2201	経常経費
総合計画体系	1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)					事業の区分	子ども・子育て支援法
	1-3安心して子育てできる児童福祉の充実（児童福祉）						主要事業
	③子育て家庭への支援					担当課係等	重点事業
2子育て支援拠点の充実					子ども福祉課		
事業期間	継続（平成17年度～ 年度）						保育係
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
<ul style="list-style-type: none"> ・孤立しがちな育児を地域とともに子育てできる環境とする。 ・子育て関連の情報発信や子育て相談体制の充実を図ることにより，子育て家庭の育児負担を軽減する。 				平成17年に開設。少子化や核家族化の進行，地域社会の変化により，地域子育て支援拠点事業を推進（H25から基金事業）。H26. 4. 1より子ども・子育て支援事業として国が推進している。			
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】				【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】			
結城市子育て支援センター（公立）の運営 開設日 月曜日～金曜日または火曜日～土曜日 開設時間 9:00～12:00 13:00～16:30				未就園児及びその保護者			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				核家族化の増加や地域の間関係の希薄化により育児に関する相談相手が減少している。			
【令和 2年度 事業内容】			【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動，イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 			<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動，イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 			<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動，イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 	
備品購入 加湿空気清浄機等							
■ 事業費							
財源内訳	国庫支出金		H30年度	233	R01年度	237	
	県支出金			233		237	
	地方債			0		0	
	その他			0		0	
	一般財源			233		239	
歳入計（千円）				699		713	
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）		
	08	報償費	93		160		
	09	旅費	3		4		
	11	需用費	446		418		
	12	役務費	67		74		
	13	委託料	20		22		
	14	使用料及び賃借料	4		10		
	18	備品購入費	60		18		
	19	負担金補助及び交付金	6		7		
	歳出計（千円）（A）			699		713	
伸び率（％）					2.00		
備考	総合計画 58ページ 予算書 91ページ						

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	企画遊び	回	目標	40.00	45.00	45.00
			実績	44.00	0.00	0.00
	サークル数	件	目標	4.00	4.00	4.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	登録者数	人	目標	900.00	900.00	900.00
			実績	738.00	0.00	0.00
	相談件数	件	目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	2,276.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	核家族世帯の増加や地域の間人関係の希薄化等により育児に関する相談相手が減少している中で、当センターは相談窓口や情報交換の場の提供ができる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間施設でも可能
	手段の妥当性	A 妥当である	児童及び保護者への子育て支援の情報提供及び相談窓口を行う場所としては妥当と考えられる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	地域子育て支援拠点として果たす役割は大きいですが、保育所が保育士不足になる側面もある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	受け入れ制限はない
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	登録児童数は伸び悩んでいるが、アンケート調査では支援センターに支えられたとの声もあり成果は上がっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	年度の計画通り遂行されている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

市内の地域子育て支援センターは、つくば保育園子育て支援センターと当センターの2か所のみであり、その中心としての役割は大きくなっている。民間保育園が保育士不足により運営が困難になってきている中、公立で運営する意味は大きい。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

子育てに悩む親の拠り所となり、虐待等の未然防止のためにも関係機関と連携して実施していく。事業内容を再検討しつつ、積極的な広報活動を行うことで、認知度を高める。国・県の子ども・子育て支援事業の補助対象事業でもあり、補助制度を活用しながら事業を継続する。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了

改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）

保護者の孤立感・孤独感が生じることによる虐待事案が増えている。子育て支援センターの相談機能を充実させる必要がある。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。